

横5 地下埋設物の埋設位置の把握及び重機等による 毀損事故回避システム

求める技術：⑤

1 課題を抱える業務の内容

例年、地下埋設物の毀損事故は多く、令和6年度は事故発生件数39件のうち地下埋設物の毀損事故が26件発生しており、依然として多くの割合を占めています。

地下埋設物の毀損事故の原因のひとつに、埋設位置情報の不正確さが挙げられます。

また、バックホウ等の重機により掘削を進める中で埋設物を毀損するケースが多く、想定外の箇所に埋設物が存在したことが原因となることも多くあります。

2 課題の詳細

地下に埋設されているもの（他企業管を含む）の情報が一括して確認でき、掘削する重機に埋設物の情報が反映され、更に、想定外の埋設物についても重機が逐次感知することで、毀損を回避することができるシステムがあれば、確実に埋設物の毀損事故を減らすことができます。

3 こんな技術を求めています！

- 他企業管を含む埋設物の情報と想定外の埋設物についても確認できる技術
- 重機に埋設物情報を反映すると共に、想定外の埋設物も含めて情報を収集しながら毀損事故を回避できる技術

4 技術の導入により代替が期待される業務

事業者が行っている刃先監視員の設置や人力掘削作業

5 事業規模・業務量

- 当該重機によるシステムを採用した工事の量（件数、掘削土量）に応じた刃先監視員や人力掘削に伴う費用の削減
- 年間工事件数（掘削を伴う500万円以上の土木工事）件数：※136件 ※：令和6年度実績